



士会だより



(本部での現地出発前の他職種も交えたミーティング)



(石川本部での他県JRAT派遣隊も含めたオリエンテーション風景)



(奥能登の避難所で集団体操前に落語を披露している様子)

「能登半島地震における兵庫JRATの活動報告」

巻頭言

p. 2

能登半島地震における
兵庫JRATの活動報告

p. 3-5

各部だより

p. 6-10

INFORMATION

p. 11

数珠繋ぎ

p. 12

巻頭言



みなさんは、どんなコミュニティに属していますか？

一般社団法人兵庫県理学療法士会

理事 有吉 智一

私が若手の頃は、地域のコミュニティが必要だと感じてはいませんでした。自施設内で解決できることも多く、知識や技術は研修会に参加すればよいという考え方でした。今思い返すと、勿体ない時間を過ごしたと思います。そんな私のターニングポイントは、先輩から誘っていただいたブロック（現在の支部）活動でした。研修会の企画や講師の先生へのご依頼、新人発表会の会場確保や当日運営などを運営委員の先生方と行った経験は、今の仕事にも活かされていますし、何より先生方と繋がりが持てたことが大変良かったと感じています。

昨年、支部会員の皆様に、コミュニティに関するアンケート調査を行い、若手・中堅・管理者世代など幅広い経験年数の方々にご回答をいただきました。「所属施設外のコミュニティと接点を持つことに価値はどの程度あるか」という質問に対し、「価値がある」「大変価値がある」に71.5%の回答がありました。その主な理由は、自己成長（視野が広がるや視座が高まるなど）や情報収集の場や人とのつながりがもてるなどが挙げられました。その一方で、「所属施設外で何かしらのコミュニティと既に接点があるか」の質問では、「ある」が47.2%に留まりました。他にもコミュニティ構築に関するご意見（完全対面式やハイブリッドなど）やご提案（同世代間交流や役割別のコミュニティなど）も多くいただけ、非常に強い関心があることがわかりました。来年度から、コミュニティの発展に向けて、支部の活動を起こしていく予定ですので、会員間の繋がりにご興味のある方は、ぜひご参加ください。そして、そこで出会った先生方と新たなコミュニティを作っていくのも大変面白いことだと思います。

自己成長として、視野が広がるや視座が高まるといったご意見がありました。9月15日にアクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）で第35回兵庫県理学療法学会学術大会が開催されます。大会テーマは「視野を広げる、視座を高める」で、大会長の1人1人の理学療法士が自分の可能性を信じ、成長の礎となるようにという気持ちがこの大会テーマにこもっています。私もこの学術大会に携わる先生方と「大会運営コミュニティ」に参加し、準備に取り組んでいます。学術大会では、前回以上の盛り上がりができるよう取り組んでいきますので、ぜひ当日会場まで足をお運びください。準備委員一同、お待ちしております。

能登半島地震における兵庫JRATの活動報告

2024年1月1日、16時10分、石川県能登半島でM7.6の大きな地震があり、日に日に大きな被害状況が報道されたことは、記憶に新しいかと思えます。

1月12日にJRAT中央対策本部(東京JRAT)から全国に応援要請があり、兵庫JRAT(一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会)として、1月23日～26日まで支援活動を行いました。以下、現地での支援活動について報告させていただきます。私は最北端の珠洲市に兵庫JRAT隊として派遣されました。珠洲市ではそれまでJRATとしての介入が十分でなかった為、目的としては珠洲市における現状を調査し、珠洲市の医療調整本部においてJRATの役割や活動内容を説明して支援チームとしての介入を認めてもらうことで、無事に理解していただき調整本部から情報をいただきました。また避難所では段ボールベッドの評価やシルバーリハビリ体操を実施しました。シルバーリハビリ体操は石川県理学療法士会がこれまで進めてきた経緯もあって、石川JRATが推奨している体操で、石川JRATのホームページ上でも動画が公開されています。私たちのチームではできるだけ地域に根付いた体操を提供しようとメンバーで話し合い、シルバーリハビリ体操を取り入れることになりました。そこで、本部と相談し被災者でありながら別地区で活動されているシルバーリハビリ体操の指導者の方にも避難所に来てもらい、一緒に実施しました。シルバーリハビリ集団体操はとても好評で、体操をした時の被災者の方の笑顔が今でも忘れられません。そこで、我々の行動目標でもある生活不活発病予防のためにもシルバーリハビリ体操が継続して実施できる仕組みを作り、後続の隊や他の支援チームにも継続して行えるようにしました。珠洲市では少しずつ流れや体制が整ってきていますが、まだまだ人手が足りず十分な支援ができていない現状があります。1月1日の発災からもうすぐ2ヵ月。避難所では自宅の倒壊等で、帰りに帰れない要配慮者、高齢者等がそれぞれの避難所に見受けられます。不自由な生活の中で、生活不活発病の予防・早期発見が大切で、一巡、二巡と重ねることで可能と思われれます。これを繰り返す為にも、長期にわたる我々JRATの活動は必要になってくると考えます。



(石川本部での他県JRAT派遣隊も含めたオリエンテーション風景)

今後は、これから供給されるであろう仮設住宅の入居までの生活の再建を視野に入れながら、少しずつ地元の方々に繋いで行けるように取り組んで行くことも重要です。そのため介護保険を持っている方の地域からのサービスなどの活用にも支援が必要ではと考えています。私の今後の役割としては少しでもJRATの活動に興味を持つ人が増えるように災害対策部として広報や研修企画などに尽力して行きたいと考えています。最後に被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、過酷な状況で被災地支援活動をしている方々に感謝を申し上げたいと思います。

東 恭弘(尼崎だいもつ病院)



(本部での現地出発前の他職種も交えたミーティング)

おそらくこの文章を読んでおられる方の多くが、災害リハビリテーションに関心のある方だと思います。おそらく時に「関心はあるけどもし現場に立つことになったとして自分は何かしら役に立てるだろうか」という不安もあるのではないかと思います。今回私は兵庫JRAT第1陣メンバーとして奥能登地域を中心に4日間支援活動に従事してきました。その経験を通し「関心はある、でも不安もある」という皆様に声を大にしてお伝えしたいです。“大丈夫、ぜひ登録してください”と。私が支援チーム登録に申し込んだのは1月中旬のことです。業務終了後にメールをチェックしていると、その中に兵庫県士会からの隊員募集のお知らせがあり、とりあえず登録してみることにしました。とりあえず、と言うと語弊があるかもしれませんが。私自身、災害リハビリテーションに関心は持っていましたが、災害対策の研修には1度参加したことがある程度でしたので、発災から2週間しか経過していないタイミングで登録してもおそらく自分にすぐ声がかかることは無いのではないかと…少しフワッとした覚悟のまま登録しました。するとすぐに、これはもう本当にすぐに事務局から連絡があり、あれよあれよという間に(登録メールを送ったその日のうちに)派遣期間を含むスケジュール調整が始まり、次の日には派遣日程が決まり、1週間後には石川県に派遣となりました。あまりの速さで派遣が決まった後から、私の中で「一体自分に何が出来るのだろうか」という不安が湧いてきました。兵庫県士会からのメールには「申し込まれた方にはアーカイブや資料で災害リハビリの予習を行ってもらい、支援者に公開される現地情報を確認してもらえれば、あとは健康な心身を有する理学療法士であれば大丈夫」と書いてあります。しかし派遣直前の私は「行ってみたもののなんの役にも立てずに帰ってくるのではないだろうか？きっとそうだ、そうに違いない」というほとんど妄想(?)に近いレベルの不安にさいなまれました。

実際に現地での活動を終えた今、「心身ともに健康な理学療法士なら大丈夫」という士会からのメッセージは本当にそうだった、と納得しています。「ヒトが安全に動くために環境を評価し提案する」「身体活動を促しメンタルヘルスや生活の質を向上させる」ことが避難所生活を送る方々にとっていかに重要なことか、そして我々理学療法士の専門性はそこに対して直接的に貢献できるのだ、ということを感じて日々でした。なので、この文章を読んでおられる皆さん、ぜひ登録してみてください。必ず理学療法士として貢献できる仕事があります。

そして、その一方で、今回の経験を通し、災害リハビリテーションに関する知識を深めることで自分をもっと大きく深く貢献できる可能性が広がるのではないかとも思いましたので、今後は継続的に災害リハビリテーションの研修会に参加してみようとも思っています。(追記：写真は珠洲市内の避難所での集団体操…の前に私が落語を披露させていただいている様子です。避難所運営スタッフの方と情報交換をする中で、私が普段職場で患者様の前で趣味の落語を披露しているという話をしたところ「ぜひここでも」という話になり着物も着ず急ごしらえで小唄をさせて頂き、多くの方に喜んで頂けました。こんな緊張した高座？は初めてでした…)

中谷 知生



(奥能登の避難所で集団体操前に落語を披露している様子)

医療・福祉の仕事を通じて誰かの力になりたい。

その夢を叶える学校です。

神戸医療福祉専門学校中央校

【介護福祉士科】 【鍼灸科】 【精神保健福祉士科】

T550-0015 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号
 (URL) <https://www.ktmw.ac.jp>

神戸医療福祉専門学校三田校

【理学療法士科】 【作業療法士科】 【看護福祉士科】
 【医療秘書科】 【国際観光科】
 【国際観光科】
 【国際観光科】
 【国際観光科】

T669-1313 三田市尾崎501-85
 (URL) <https://www.ktmw.ac.jp>

姫路医療専門学校

【作業療法士科】 【看護福祉士科】 【国際観光科】
 【国際観光科】

T670-0927 姫路市野形町27番2号
 (URL) <https://www.himc.ac.jp>

より実践的な
多職種連携「VW」が実る
新たな兵庫医科大学へ

強い医療人 なりたいか。

2022年4月開設
薬学部 | 看護学部 | リハビリテーション学部
 医学部を擁する西日本最大級の医系総合大学に。

兵庫医科大学

各部だより

スポーツ活動支援部

兵庫県高校野球連盟主催 関西国際大学指導者研修会

野球班 上原 拓也(東浦平成病院)

2023年12月16日(土)関西国際大学第二グラウンドにて高校野球指導者・選手に向けて指導者研修会が開催されました。スポーツ活動支援部 野球班では6名の理学療法士が講師となり、指導者・選手合わせて243名に野球選手が障害予防に必要なケアやトレーニングの方法を指導しました。例年は人工芝の屋内練習場をお借りしストレッチなどの指導に当たっていましたが、今回は前日の雨によりグラウンドコンディションが悪く投球や走塁の指導を行うグラウンドが使用できない状況に。急遽、予定していた屋内練習場からグラウンド横の駐車スペースでの講義となりました。そんなちょっとしたハプニングもありスポーツ活動ならではの臨機応変に対応する柔軟性が必要と改めて感じる機会になりました。



【参加者の感想】

今回、私は関西国際大学で行われた指導者講習会に参加し、故障予防というテーマで県内の野球部員にストレッチ指導を行ってきました。セルフチェックで自身の体の左右差等を確認してもらい、ただ単にストレッチをするのではなく故障に繋がる原因やパフォーマンスアップについても学びながらストレッチを実施してもらいました。今回お伝えした内容を今後も継続して頂き、貴重な高校野球の時間を怪我なく過ごしてほしいと思います。私自身もこのような機会に講師として参加することができ、伝える側として大変勉強になりました。今後もひとりでも多くの選手が怪我なくプレーを続けられるように、コンディショニングについて伝え続けて行きたいと思います。

佃 美智留(いしもと整形外科リハビリクリニック)

スポーツ活動支援部・中播磨支部主催 スポーツ理学療法講習会 『肘・手関節のスポーツ障害』

藤井 祐樹(段医院)

2024年1月13日(土)、スポーツ活動支援部・中播磨支部共催 スポーツ理学療法講習会が、姫路市の段医院にて開催されました。全7回中4回目となる今回は、「投球障害肘」「肘外側上顆炎」「肘関節脱臼」「TFCC損傷」「マレットフィンガー」について、スポーツ現場を想定しつつ実技も取り入れた内容でした。今年度から対面形式での開催が再開でき、より参加者の方々の表情が窺え、良い意見交換の場にもなったと思います。

参加者の多くが、2024年2月11日に開催される姫路城マラソンに、救護所理学療法士としてサポートに携われます。今後、現場で一緒に活動できることを楽しみにし、中播磨支部のスポーツ支援活動の中心的な存在としてご活躍されることを願っております。



【参加者の感想】

今回、スポーツリーダー研修会で肘・手関節について勉強をさせて頂きました。私自身小学生のころに野球で肘を故障したこともありその頃を思い出しながら受講させて頂きました。臨床では携わることが少なく少し難しさを感じておりましたが基礎知識から評価、それらに対する治療等を勉強することができました。今回教えて頂いた知識を活かし現場での活動にて取り入れていきたいと思っております。私と同じような経験をすることなく競技に取り組めるよう障害予防に努めていきたいと思っております。貴重な講義をしていただきありがとうございました。次回の研修会も楽しみです。

医療で社会をつなぐ
「医療社会人」を目指す

学校法人 平成医療学園
宝塚医療大学
TUMH TAKARAZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL and HEALTH CARE

0120-00-1239
〒666-0162
兵庫県宝塚市花屋敷緑が丘1

保健医療学部
理学療法学科 ■ 柔道整復学科 ■ 鍼灸学科

宝塚医療大 検索
http://www.tumh.ac.jp/

～精鋭の教員陣による人間教育～

リハビリテーション学部
理学療法学科

神戸国際大学
リハビリテーション学部 / 経済学部

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6
TEL: 078-845-3111(代表) FAX: 078-845-3200

各部だより

スポーツ活動支援部

～シッティングバレー大会サポート・活動報告～

重松 ちあき(益子整形外科)

スポーツ活動支援部が毎年コンディショニングルームを提供させて頂いている「第25回冬パラバレーボール選手権大会in玉津」が、2月17日(土)、18日(日)の2日間で開催されました。コロナ禍以降、チーム数が増え、全国から集結した女子11チーム、男子14チームでの戦いとなりました。コンディショニングルームでは、両日併せて39件を8名のスタッフで対応させていただきました。

シッティングバレーボールは床に座った状態で行う競技で、ルールは基本的に6人制バレーボールと同じです。障がいのある方、そうでない方が一緒にチームを組みプレーすることができます。座位で手をつき床を蹴って移動するため、問題の出る箇所は腰・膝関節・手・肩関節と多岐にわたります。また慢性障害が8割程度であり、理学療法士としての知識、技術が活かされる現場です。



【参加者の感想】

この度は、冬パラバレーボール大会におけるシッティングバレーボールの現場活動に参加させて頂きました。切断選手のプレースタイルは、どこで支持して移動し、どこに負担が加わるかを考えながら取り組みました。ストレッチやテーピングなど患部の状態は状況に応じて処置し、疑問点はスタッフ全員で情報共有し行うことで有意義な時間を過ごせました。今後も現場活動で学んだことを日々の臨床で活かせるように実践していきたいと思えます。

伊藤 稜(田中整形外科)

コンディショニングルームでは、選手対応の合間でスタッフ同士が、自分が選手に施術した内容をシェアしたり、より良いテーピングの巻き方を話し合ったりなどする風景が見られ、普段スポーツ選手に関わっていない先生方も、経験を積むのに適した現場になっているなと感じました。スポーツの現場で選手対応をしてみたいと考えておられる先生方には、ぜひ現場に来て頂けたらと思います。

スポーツ活動支援部のサポートには日頃スポーツ選手にかかわることのない病院、介護施設勤務の理学療法士も多く参加していただいています。スポーツ活動を支援するサポートスタッフに興味のある方は、年齢、経験年数、性別は問いませんので、兵庫県士会HPにアップされる「現場活動のお知らせ」、「勉強会のお知らせ」に是非お申込みください。

皆さんとスポーツ活動のサポートをできることを楽しみにしております。

(申し込み先) スポーツ活動支援部 中西 拓也

e-mail: supokatsu2008@gmail.com



保健福祉部

コミュニケーショントレーニング研修

皆さんは、コミュニケーションについて自信がありますか？ 12月10日(日)に保健福祉部主催「コミュニケーショントレーニング研修」が開催され、部員として初めて企画運営から当日参加まで携わる機会を得ましたので報告いたします。私にとって最も印象に残ったのは「三角の対話」というプログラムです。三角とは『語り手』、『聴き手』、『観察者』の3役のことです。『語り手』は自分自身が伝えたいことを『聴き手』に対して話しきり、『聴き手』は相槌を打ちながら『語り手』の話の聞くだけです。残りの『観察者』は第三者として双方の様子を観察します。今回は職場で感じている人間関係の悩みをテーマに行いました。私はアンガーマネジメントを例に出して、怒りをマネジメント(管理)する難しさや、その感情を胸にしまい込んだときに生じるストレスを抱え始めていることを打ち明けました。オンライン上で初対面のメンバーに個人的な悩みを打ち明ける恥ずかしさもありましたが、メンバーの方から「問題意識を持って取り組まれていると思う」、「そのような考え方が私の職場にも居て欲しい」と、自分の悩みに対して肯定的に捉えてくださった意見を聞くことが出来て、とても気持ちが楽になりました。その他いくつかのプログラムを体験し、「自分の感情をコントロールするのではなく、その状態にあることを受け入れる」ということ、「意見に賛同するのではなく、共感する」ことの大切さを学ぶことができました。また他者の話を聞くことで、職場の上司、同僚、部下など身近な人物への配慮を考え職場での人間関係を円滑にしていくことに、実は多くの参加者が悩んでいることを知りましたが、研修後の振り返りで「この研修を受けて良かった」、「自分を知るきっかけを得ることが出来た」と多くの反響の声をいただき、より多くの会員のみなさんにぜひ参加していただきたいと思いました。

吉崎 真(神戸平成病院)

10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む
総合リハビリテーション学部

理学療法学科
● 理学療法士国家試験受験資格
● 健康運動実践指導者認定試験受験資格*

作業療法学科
● 作業療法士国家試験受験資格

総合リハビリテーション学研究科
大学院 修士課程・博士後期課程

49
161

神戸学院大学 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
有瀬キャンパス TEL(078)974-1551(代表)

リハビリ訪問看護ステーション 運営部 | アスリートサポート部 | ソーシャルメディア広報部

Steps
想いをカタチに

予防医療部 | ウィメンズヘルス部 | ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754
〒652-0033 神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸 II 101

神戸西事務所 TEL 655-0013
〒655-0013 神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203

『福祉用具研修～教えます!!福祉用具のプロが伝授する秘訣

(ベッド周辺用具編)』を開催して

2024年1月21日、保健福祉部では株式会社ヌーベルバーグ介護ショップ連の正木 健一先生を講師としてお招きし、標記の研修を開催しました。今回の内容は、電動ベッド・マットレス・ピローが姿勢や動作に及ぼす影響や安楽な姿勢の作り方、シートを使用した移動介助方法などです。たくさんの用具を実際に体験しながら、基本的な使用方法や使用する際の工夫(秘訣)を現場経験豊富な正木先生から教えていただきました。受講者は新人からベテランまで幅広い世代の方々に、所属も病院・施設・在宅など様々でしたが、それぞれにたくさんの新たな学びがあった様子でした。福祉用具は生活機能に大きな影響を及ぼす代表的な環境因子です。理学療法士にとってベッド周辺用具は身近なものでありながら、自らが体験する機会はそれほど多くなく、マットレスやピローなどに寝たときに感じる接地面での身体のズレや動作への影響などは実際に体験しないとわかりません。実体験を通して学ぶことで、現場での効果的な使用や提案につながります。受講者の方からは、「すべての理学療法士が学ぶべき内容」という感想もいただきました。保健福祉部では、明日の現場で活かすことができる内容の研修を今後もたくさん企画していきます。研修の中では日々の困りごとなども相談しやすいように考えていきますのでぜひご参加ください。

畑井 貴弘

各部だより

こども生涯支援部

研修会報告

令和6年2月11日(日)、理学療法士会会員、理学療法士養成校学生を対象とした研修会をWEBにて開催し、50名の参加がありました。

今回の研修では、「こどもの補装具類の実際」というテーマで佐藤 勇三先生(姫路市総合福祉通園センター)、桑原 康治先生(神戸市立灘さくら支援学校)、下野 裕宣先生(株式会社プラスト)、吉田 聖代先生(訪問看護ステーションぶるうみい)から各生活場面における補装具類の活用方法等について講演して頂きました。写真・動画など実例を紹介・説明して頂いたことで補装具類の使用場面や子ども達の生活の中での補装具類の役割等がイメージしやすくより理解が深まりました。また、成功例だけでなく難渋したケースも紹介頂いたことで普段臨床で悩まれている皆様にも共感していただける内容になったかと思えます。アンケートにおいても「各分野からの意見を聞けたので良かった」「様々な立場から、違った意見、共通した意見を聞くことが出来た」等、現在所属されている部署と違う立場の意見・思いを知ることができ、今後の臨床に活かせる内容になったとのご意見を頂いています。今回、日程等で参加が叶わなかった方もアーカイブ配信を予定しておりますので、是非ご視聴頂けたらと思います。

津吉 広太

INFORMATION

視

第35回
兵庫県理学療法
学術大会

野を広げる

座を高める

マルチモビリティ時代を見据え

日程 2024年9月15日(日)

会場 姫路文化コフペフジョフセフター
アクリエジめじ

大会長 立石 大樹

主催 一般社団法人
兵庫県理学療法士会

大会運営事務局：第35回兵庫県理学療法学会 事務局
姫路聖マリア病院 リハビリテーション技術課
〒670-0081 兵庫県姫路市仁豊野650

運営会社：有限会社 Xメディアレブ

HP Instagram X(旧Twitter)

QRコード

看護リハビリテーション学部
理学療法学科

女性だから、できるケアがある。
女子大学で、女性のための理学療法を学び、
リーダーシップがとれる理学療法士へ。

甲南女子大学
KAMINAN WOMEN'S UNIVERSITY

〒658-0001 神戸市東灘区森北町 6-2-23

理学療法学科公式サイト

理学療法学科公式 Instagram

創立50年の歴史を持つ医療の総合教育校

診療放射線科 臨床工学科
視能訓練士科 理学療法士科
作業療法士科 言語聴覚士科
歯科衛生士科 臨床工学専攻科

Since 1973 医療法人社団 経理会
KCC 神戸総合医療専門学校

〒654-0142 神戸市東灘区友が丘7丁目1番21

神戸総合医療 検索

お問い合わせはこちら TEL 078-795-8000(代) 078-795-8100(入試・広報係)

HP <https://www.kobecc.ac.jp>

スマートフォンはコチラ

QRコード



みのだ整形外科 クリニック 佐藤 伸明氏



略歴 & 職歴

- 2003年3月
神戸総合医療専門学校
理学療法士科 卒業
- 2003年4月～2023年3月
鐘紡記念病院(現 神戸百年記念病院)
- 2023年4月
みのだ整形外科クリニック

資格

- 認定理学療法士(スポーツ認定)
- 日本スポーツ協会公認
アスレティックトレーナー

モットー

明日は明日の風が吹く

趣味

サッカー・アウトドア

昨年、20年間勤めた神戸百年記念病院を退職し、今年度より三田で新規開院しましたみのだ整形外科クリニックで新たなチャレンジをしています。転職の決断は難しいものでしたが、20年は人生では成人という一区切り。ひとところで成長してきたことを活かすべく次のステップを！と転職を決断しました。

管理業務メインだった仕事から一転、今は多くの患者と触れ合うことができ、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえる喜びをひしひしと感じ、初心を思い出すことができます。

また、休みの日には科学技術高校サッカー部や兵庫県選抜チームのトレーナーとして活動しています。今年度は次々と強豪校を破り、なんと決勝まで勝ち進むことができました！惜しくも準優勝という結果になりましたが、選手がサッカーに真剣に向き合う姿にはいくつものドラマがあり、時には本気で涙することも…。臨床で味わうことのできない刺激をたくさんもらい、それが日々の原動力になっています。

開院してまだ一年。『笑顔で帰ってもらえるクリニック』をモットーに三田になくてはならない存在になれるようにこれからも研鑽を積んでいきたいと思えます。

次に紹介させてもらうのは私と同じく今年度より新しいスタートを切った増本整形外科クリニックの浅田秀樹先生にお繋ぎします。

表紙写真

2024年1月1日、16時10分、石川県能登半島でM7.6の大きな地震があり、日に日に大きな被害状況が報道されたことは記憶に新しいかと思えます。

被災地における兵庫JRATの支援活動について報告しています。是非ご覧ください！

県士会だより 第203号

発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者/間 瀬 教 史

編集者/筒 井 章 悟

ホームページ

<http://hyogo-pt.or.jp/>



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階

TEL 078-367-7311